

練馬区この1年

平成27年4月～平成28年3月



4月にリニューアルオープンした「練馬区立美術の森緑地」

練馬区立美術館に隣接する天然芝を敷きつめた園内には、20種類・32体の彫刻群が潜んでいる。彫刻群は、見るだけでなく触れることもできる。

27年4月

1日 予防接種サポートシステムの運用開始

予防接種を正しく確実に受けられるよう、一人ひとりに合った接種スケジュールの作成や接種日通知メールの受信、予防接種票の発行申請などができる予防接種サポートシステムの運用を開始した。

4日 「大泉アニメゲート」がオープン **写真①**

大泉学園駅北口に直結するペデストリアンデッキに、アニメデザイン空間「大泉アニメゲート」がオープンし、練馬区ゆかりのキャラクター達の等身大ブロンズ像やアニメ年表が設置された。

4日 「美術の森緑地」リニューアルオープン

写真「練馬区この1年」扉ページ

練馬区立美術館に隣接する緑地が、20種類・32体のカラフルな動物を中心とした彫刻群に、見て触れて想像を巡らせることができるアートスペースとして生まれ変わりオープンした。

5日 「こどもの森」開園式 **写真②③**

「自然×冒険×交流」をコンセプトとし、子どもたちが、練馬区に昔から残る樹林地や畑などのみどりに触れながら、自由な発想で遊べる「こどもの森」の開園式を実施した。

10日 総合教育会議を初開催

区長と教育委員会との連携の強化を目的とした総合教育会議を初めて開催した。

14日 外遊び事業「おひさまびよびよ」開始

0～3歳までの子どもと保護者を対象に、樹木や草・土などの自然の素材を利用した遊びの場を提供する「おひさまびよびよ」を、区内4カ所の公園で開始した。

26日 練馬区議会議員選挙実施

5月

10日 母の日にフラワーショップで乳がん検診啓発を実施

母への感謝とともに「乳がん検診メッセージ」を届けるキャンペーンを、区内7店舗の協力を得て実施した。

17日 第28回照姫まつり開催 **写真④⑤**

都立石神井公園とその周辺で開催され、約13万人の人出でにぎわった。

今回は、友好都市の長野県上田市から真田の甲冑隊が照姫行列に参加、信州上田真田陣太鼓保存会は太鼓の演奏でまつりを盛り上げた。



① 大泉アニメゲート
オープニングセレモニーの様子
(左から手塚眞氏、松本零士氏、
高橋留美子氏、千葉洋嗣氏)

② こどもの森
オープンを知らせる
ポスター



④ 行列に参加する上田城甲冑隊



③ こどもの森開園当日の様子



⑤ 沿道に手を振る照姫

6月

12日 第67代議長にかしわざき強氏、第69代副議長に内田ひろのり氏が就任

第二回区議会定例会で、新議長および副議長がそれぞれ選出された。

15日 副区長に黒田叔孝氏が就任

第二回区議会定例会で、6月13日に副区長を退任した琴尾隆明氏の後任として、練馬区前技監の黒田叔孝氏が選任された。

29日 「みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン」を策定

3月に策定した「みどりの風吹くまちビジョン」を実現する工程を示すため、戦略計画をはじめビジョンに基づく主要な事業の3年間（平成27～29年度）の年度別計画と事業費を明らかにした。

7月

1日 新「教育長」に前教育長の河口浩氏が就任

これまでの教育委員会委員長と教育長を一本化した新たな「教育長」が置かれることになった。新たな教育長として、区議会の選任同意を受けて前教育長の河口浩氏が就任した。

1日 公用車に燃料電池自動車MIRAIを導入

写真⑥

公用車に、水素を燃料とし、排気ガスを全く排出しない燃料電池自動車を1台導入した。



↑⑥ 関東で初めての商用水素ステーションである「練馬水素ステーション」に停車するMIRAI



↑⑦ 練馬区立美術館「ダミアン神父」像を鑑賞される皇后陛下

2日 都市農地保全自治体フォーラムを開催

都内の38区市町が結束し貴重な都市農地を守るため、都市農業振興基本法成立後初めて開催された。

8月

7日 戦後70年練馬区平和祈念コンサートで戦時体験の講演を実施

平和祈念コンサートの中で、区内在住の戦争体験者である小岩昌子さんが、練馬区における戦時中の暮らしなどについて講演を行った。

21日 皇后陛下が開館30周年記念「舟越保武彫刻展」をご鑑賞

写真⑦

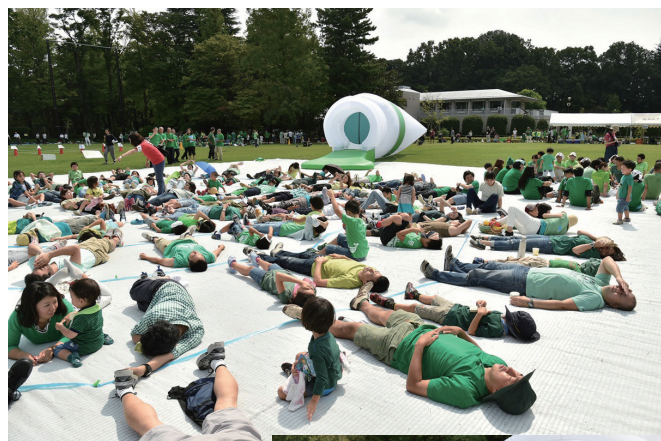
皇后陛下が練馬区立美術館を訪れ、開館30周年記念「舟越保武彫刻展—まなざしの向こうに」を鑑賞された。

9月

5日 「Yori Dori Midori (よりどりみどり) 練馬」テレビCMを撮影

写真⑧⑨

練馬区の広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」第3弾として、1,000人を超える区民が参加し、巨大な人文字アートとパレードのテレビCM撮影を行った。



↑⑧⑨ 「よりどりみどり練馬」1,000人を超える区民が参加したテレビCMの撮影風景

6日 練馬区農の学校「ねりま農サポーター」が誕生 **写真⑩⑪**

4月から実施してきた練馬区農の学校の修了式が行われ、農の学校初の「ねりま農サポーター」が誕生した。「ねりま農サポーター」は農業者の支え手として活動するほか、区の農業イベントにも協力する。

13日 区内99か所の拠点で震災総合訓練を行い、臨時災害放送局（FMラジオ）を初めて開設

震災総合訓練のひとつである防災フェスタで、大規模な災害が発生した際に区が開設する臨時災害放送局の試験放送訓練を、初めて実施した。

17日 「練馬こども園」として13園を認定 **写真⑫**

全国初となる地方自治体独自の幼保一元化施設「練馬こども園」へ認定証を交付した。

10月

18日 「練馬産業見本市ねりまEXPO2015」と第38回練馬まつり、初の同時開催

区内の事業者の優れた技術や特徴ある商品など、区内産業の魅力を発信するねりまEXPO2015を、練馬まつりと同時開催した。

24日 ねりまビッグバンを初開催

参加者同士がまちを元気にするアイデアを出し合い、実現していく新しい試み「ねりまビッグバン」の1回目を開催した。



⑩ ⑪ 農の学校
初級コースの受講風景



⑫ 練馬こども園
認定証交付式の様子

11月

6日 「Yori Dori Midori (よりどりみどり) 練馬」フェイスブックページを開設

開設されたページでは「よりどりみどり練馬公式PRサポーター」に登録した区民が投稿者となり、隠れた魅力スポットや、四季折々のイベント・風景など、練馬の魅力を区民の視点で発信する。

7日 ねりマルシェを初開催 **写真⑬⑭**

練馬産野菜や江戸東京野菜、旬の花や果物、練馬産農産物を使用した飲食品・加工品などの即売会「ねりマルシェ」を、練馬区とねりマルシェ実行委員会の共催で、初めて開催した。

22日 婚姻記念撮影スポットを設置

例年、多くの婚姻届が提出される「いい夫婦の日」に、区役所内に記念写真を撮影できるスポットを設けた。

12月

15日 都内初 災害時の福祉用具優先供給協定を締結

福祉避難所をはじめとする避難所を開設した際、福祉用具が不足した場合に優先的に供給が受けられるよう、一般社団法人日本福祉用具供給協会と「災害時における福祉用具等物資の優先供給等協力に関する協定」を締結した。



⑬⑭ 平成つつじ公園で開催された
マルシェの様子

21日 都立高校で選挙啓発事業を実施 **写真⑮⑯**

選挙権年齢が18歳に引き下げられるのを前に、区選管とNPO法人Youth Createが協力し、都立第四商業高校で主権者意識を高めてもらうことを目的とした出前講座と模擬投票を実施した。

21日 「練馬区の『これから』を考える～区政の改革に向けた資料～」を公表

区政の重要課題について、現状と将来見通しをデータに基づき示した「練馬区の『これから』を考える～区政の改革に向けた資料～」を作成し公表した。

平成28年1月

12日 光が丘子ども家庭支援センター分室を開設

写真⑰

分室の開設により、今まで光が丘子ども家庭支援センターで実施していた子育てのひろば事業の実施場所が分室へ移行した。子育てのひろば事業と一時預かり事業の実施場所を分けたことにより、実施日が共に拡大した。

14日 「四季の香(かおり)ローズガーデン」が環境省「におい・かおり環境協会賞」を受賞

28年5月に、バラの香りをテーマとして開園する「四季の香ローズガーデン」が、環境省主催の第10回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト



↓ **⑯** 模擬投票所入口に並ぶ生徒たち

↑ **⑮**
実際に使用されている投票箱に一票を投じる



で、におい・かおり環境協会賞を受賞した。

23日 ペット防災講演会を開催

災害等で自宅に住めない状況になったときに、飼い主としてすべき行動や事前準備についての講演会「災害が起こったら、うちの猫はどうしよう」を初開催した。

29日 パラリンピック日本代表の岩淵幸洋選手が前川区長を表敬訪問

リオデジャネイロパラリンピックに出場する岩淵幸洋選手（早稲田大学卓球部所属：練馬区内在住）が前川区長を表敬訪問し、大舞台での健闘を誓った。

2月

1日 大泉さくら運動公園多目的運動場を人工芝化

写真⑱

クレイ舗装であった多目的運動場の人工芝化を実施した。区立施設では初の人工芝運動場として、2月1日から一般利用が開始された。



↑ **⑰** 光が丘子ども家庭支援センター分室の様子



⑱ 人工芝化した多目的運動場 →

20日 イグ・ノーベル賞受賞のマイヤーロホ博士による「科学講演会」を開催

ヴィクトール・ベノ・マイヤーロホ博士が、「生き物っておもしろい！」のテーマで講演した。当日は、科学や生物好きな小中学生とその保護者約200人が参加し、「必ず四つ子を産むアルマジロ」など不思議な生態の話に耳を傾けた。

した。「空家等対策の推進に関する特別措置法」や、区の空き家対策の取組について説明した後、各専門家ブースにおいて個別相談会を実施した。

24日 区政改革推進会議からの提言を受け、シンポジウムを開催 **写真⑳⑱**

公募区民や学識経験者などで構成する区政改革推進会議から提言を受けた。それに引き続き、シンポジウム「区民の視点からの区政改革をめざして」を開催した。

シンポジウムでは、土居丈朗慶應義塾大学教授（区政改革推進会議委員長）による講演や、推進会議委員と前川区長によるパネルディスカッションを行った。

25日 練馬区の人口が72万人を突破

練馬区の登録人口（住民基本台帳に登録された人口、外国人を含む）が720,027人となり、初めて72万人を突破した。

27日 練馬こぶしハーフマラソン2016を開催 **写真㉒**

区内の主要幹線道路をメインコースとしたハーフマラソンの第2回大会を開催した。

第1回大会に引き続き、全国から4,500人を超えるランナーが参加し、多くの区民による応援のなかを駆け抜けた。

3月

1日 「とっておきの練馬プロジェクト」始動 **写真⑲**

練馬の魅力情報を区民から集め、様々な媒体で発信する。第1弾として、練馬の春の見どころ（景観、花、食べ物）やおもしろ情報の写真とコメントを募集した。

4日 「ねりま区報」が東京都広報コンクールで最優秀賞を受賞

都内区市町村の広報活動の充実を目的に行われている東京都広報コンクールの広報紙部門で最優秀賞を受賞した。

23日 「空き家所有者向け活用セミナー・相談会」を初開催

区内の空き家所有者を対象に、空き家の適正管理・有効活用を考えるセミナー・相談会を初開催



⑲ とっておきの練馬投稿募集ポスター

⑳ シンポジウム第1部
土居教授による講演の様子



㉑ シンポジウム第2部
パネリストとして前川区長も参加



㉒ こぶしハーフマラソン
沿道の声援を受けながらゴールするランナー